

# 市長定例記者会見資料



平成 29 年 3 月 21 日	
所 属	魅力発信・報道担当
所属長	井上 潤一
電 話	06-6489-6021

## ごきげんさんに暮らすまち「尼ノ國」いざ開国！！

### 1 趣旨

本日3月21日（火）付で、子育てファミリー世帯をターゲットにした定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國（あまのくに）」を開設します。

本市は、昭和45年の55万人をピークに人口減少が続いています。夫婦2人世帯は転入超過傾向を示しているものの、中学生以下の子どもがいる世帯は転出超過となっています。この原因として、転出者のアンケートからは治安やマナー、学校教育、自然環境などに関する負のイメージが強いことが分かりました。市外に転出した約5割が家族を持って5年以内に転出していることから、充実した子育て・教育施策や、効果を上げている防犯の取組、都市魅力などの情報が市民に達するまでに数多くの子育て世代が転出しているのではないかと考えられます。

こうした状況を踏まえ、本市の暮らしやすさと居住地としての魅力、教育の取組などを分かりやすくまとめたサイトを開設し、子育てファミリー世帯の定住・転入促進を図ります。

### 2 概要

サイト名：尼ノ國（あまのくに）

公開日：平成29年3月21日

URL：<https://www.amanokuni.jp>



### 3 尼ノ國の特徴

「定住・転入促進」をテーマにしたサイトは、既に多くの近隣市で作られています。本市は後発隊となりますので、他都市との差別化を図るため、下記の4つの特徴を中心に、インパクト・メッセージ性の強い、人のぬくもりが感じられるサイトを目指します。

#### (1) 尼崎の未来を作るメンバーを募集

全国各地で「うちに来ないか」と移住キャンペーンが繰り広げられるなか、尼崎市は「こんな人に来てほしい」と逆指名をさせていただきます。「なにをえらそうに！」と言われるかもしれませんが、尼崎市は、まちを一緒につくる仲間を募集するつもりでこのサイトを立ち上げました。

「尼ノ民（尼崎市民）が大切にする十の言葉」を逆指名ワードとして掲げ、「尼ノ民ってなんか楽しそう」「尼崎市に住んでみたい」と閲覧者に思ってもらいたくことが狙いです。

#### 十の言葉（逆指名ワード）

- ・おせわさま
- ・おたがいさま
- ・おせっかい
- ・おちょうしもん
- ・おすそわけ
- ・おべんきょう
- ・おしごと
- ・おこさま
- ・おかえり
- ・おとなりさん

## (2)スマートフォン・タブレットでの操作性を重視したデザイン

パソコンユーザーが減少し、スマートフォン・タブレットユーザーが増加している現状を鑑み、主にスマートフォン・タブレットユーザーを想定したデザインを採用しました。タッチ操作がしやすいボタンサイズや、下方にスクロールしたくなるデザインをしています。

## (3)教育の取組を動画でも紹介

教育の取組については、一つの事業を掘り下げて徹底解説するロングインタビュー記事を掲載します。子供たちが活き活きと遊んだり、学んだりする様子がより伝わるよう、インタビュー記事と併せて動画も掲載しています。

## (4)市民自らが尼崎の魅力をInstagramで発信するコーナーを設置

尼崎市に居住すること、足を運ぶことの魅力を市民自らが発信できるコーナーを作りました。Instagramでハッシュタグ「#尼ノ國」か「#amanokuni」を付けて発信された投稿を市が選定し、尼ノ國に掲載します。Instagramを活用した魅力発信は阪神間で2番目となります。

## 4 尼ノ國の主なコーナー

尼ノ風景	尼ノ民がお薦めする尼崎での一日の過ごし方を紹介。「尼崎城建設予定地周辺をめぐる編」「運河などの臨海エリアをめぐる編」など。
尼ノ民	尼崎市でごきげんに暮らしている人へのインタビュー記事。「全国から人を集める映画館の仕掛け人」「ブックカフェで地域とつながる幼稚園の理事長」など、十の言葉に当てはまる人々が登場します。
尼ノ暮し	<b>【突撃！尼ノ市役所】</b> 「空気が悪いってほんまですか」「治安が悪いってほんまですか」などの素朴な疑問を市役所職員にぶつけます。 <b>【合戦！住めば都自慢】</b> 阪急・JR・阪神。沿線ごとに特色のある尼崎市。各沿線を代表して3人の子育て中の母が座談会を開き、それぞれの沿線自慢を繰り広げます。
尼ノ学び	<b>【尼ノ学校】</b> 尼崎市の教育の取組を紹介。「海外からも視察に来るほどハイレベルな小学校給食」「英語学習ホップ・ステップ・ジャンプ事業」「放課後等学習支援」など。より現場の状況が伝わるよう動画も掲載。 <b>【みんなの尼崎大学】</b> 「みんなが先生 みんなが生徒 どこでも教室」をスクールモットーに、まち全体を大学に見立てて楽しみながら学びを広げる事業です。学びをきっかけに活動を始めた人や、私の場をみんなの学びの場にひらいている活動のご紹介、定期的に行っているみんなの尼崎大学オープンキャンパスの実施報告など。
尼ノインスタ	まちの風景、イベント、グルメスポットなど、ハッシュタグ「#amanokuni」か「#尼ノ國」を付けて発信された投稿を掲載します。

以上



## 暮らすまちをどう選ぶ？

尼崎市は安くて便利、住みやすい。でも、ガラが悪い、空気が悪い、イメージが悪い。と言われていることも知っています。(実際はそうでもないんですが…)とはいえ、暮らすまちを選ぶのは、カタログでチェックして最安値をクリック！でも、住みたいまちランキングの上から順に選べばいいというものでもないはず。

## 尼崎の未来を作るメンバー募集

全国各地で「うちに来ないか」と移住キャンペーンが繰り広げられるなか、尼崎市は「こんな人に来てほしい」と逆指名をさせていただきます。「なにをえらそうに！」と言われるかもしれませんが、尼崎市は、まちを一緒につくる仲間を募集するつもりで、尼崎市公式の定住・転入促進情報発信サイトを立ち上げました。

## 「尼ノ民」から読み解く風土

尼崎市では、人懐こさや自ら楽しもうとする遊び心、おたがいさま、おせわさまの気持ちが今も息づいています。多くの都市で忘れ去られた“大切なもの”が息づく尼崎を「尼ノ國」と呼び、このサイトには、尼崎市でごきげんに暮らす人たち、すなわち「尼ノ民」が登場します。彼らが大切にしていることや、暮らしへのこだわりなど尼ノ國の風土を知っていただき、一緒に尼崎の未来を作りましょう。



# このサイトで伝えたい 尼ノ民が大切にしている 十の言葉

逆指名ワード

過去から育まれてきた尼崎が誇るべき気質の中から、未来の尼崎「尼ノ國」でも大切にされるべき尼ノ民の気質を以下の合言葉で示します。これらはいずれも近代化以前のこの国で大切にされてきた価値観であり、これらを江戸時代を思わせるデザインをまとった逆指名ワードとして「共感」による定住・転入促進をねらいます。

## おたがいさま

お世話する側とされる側。教える側と教えられる側。というように人の関係が固定化されるのではなく、教えているはずがいつのまにか教わっていたり、関係が反転することもしばしば。「みんなが先生、みんなが生徒、どこでも教室」をモットーにみんなの尼崎大学が開学します。

<社会教育、関係性の反転、みんなのサマーセミナー>

## おすそわけ

尼ノ國では独り占めはご法度。成功した企業は地域に博物館を作ったりお城を建てたり、と地域へ恩返しすることが少なくありません。誰かからもらった知識や経験を、他人とわけあうことで新しいアイデアが生まれることも。尼ノ國はそんなシェアの文化を大切にしています。

<ええかつこしいを嫌う、労働組合、生協組織>

## おこさま

尼ノ國では子どもが大切にされています。全国平均レベルの学力に加えて、小学校ではだしから丁寧に作られた給食が出され、個性を育むユニークな授業に力を入れています。なぜそんなにおこさまを大切にしているの？ すべては30年後、この尼ノ國を支えてもらうためですよ。

<公害運動の発端、ガリ勉よりええ子を>

## おせっかい

悪さしている近所の子どもを叱りつける大人の存在。「余計なお世話」と紙一重ですが、頼まれなくてもやっってしまう人々の力がこの國の原動力になるはず。そんな尼崎のおせっかい心は、JR 福知山脱線事故の救助活動に参加した町工場の姿で全国から注目を集めました。

<災害を乗り越えてきた歴史、シズンシップ>

## おべんきょう

尼ノ國では、いくつになってもどこでもお勉強ができます。学校の勉強であきたら寺子屋を開く若者や、近所で暮らす外国人のために日本語講座を公民館で企画したり、元来のおせっかい気質とあいまって学びを通じた出会いの場が市内各地で生まれています。生涯、学習なのです。

<公民館運動、私塾、人生のスイッチ>

## おかえり

工業都市として発展した尼崎市には、戦前から多くの人々が移り住んできました。沖縄や奄美大島、九州、四国、さらには中国、韓国朝鮮などさまざまな文化の人たちを「おかえり」と迎え入れてきたまちの懐の深さはだてじゃありません。第2の故郷としての包容力は日本屈指です。

<多文化共生、最強の県人会組織、外国籍市民>

## おせわさま

弱い立場の人を支える気質は、多様な人々が暮らす尼崎だからこそ培われてきた地域の力といえます。子どもたちは、いわゆる世話好きな尼のおっちゃんおばちゃんに囲まれ、お世話したりお世話されたりしながら、困っている人をほっとけない立派な尼ノ民へ成長していきます。

<新しい福祉、思いやりのまなざし>

## おちょうしもん

関西では「いちびり」なんて呼ばれる気質は、社会を変革する力を持っています。家庭の鍋事情を変革したといわれる、今や全国区の「ひろたのぼんず」は八百屋のおっちゃん（廣田さん）が近所のおばちゃんたちにおだてられて完成した、まさにお調子者のなせる逸品なのです。

<起業家気質、チャレンジできる土壌>

## おしごと

尼ノ國では、お金を稼ぐための仕事だけじゃなく、地域や誰かのためになる仕事を「おしごと」と呼びます。多くの会社や工場は、通りの清掃や子どもの見守り、水路の管理、さらには子供たちの職業体験などを当たり前のように入れているのも、おしごと精神のあらわれといえます。

<企業の地域貢献、三方よし、次世代育成>

## おとなりさん

30年後には“おひとりさま”が増えるとされるニッポン。ご近所に家族や親戚以外で頼れる人がいることも大切です。尼ノ國では、町内会だけでなく、各地域で同じ関心を持った人々が出会うチャンスが数多く作られています。知らない間にいつのまにか知り合いが増える國なのです。

<地縁型テーマ型コミュニティ、対話と協働>






# みんなの 尼崎大学

Univer City of Min'na Amagasaki

「みんなの尼崎大学」は、「みんなが先生、みんなが生徒、どこでも教室」をスクールモットーに、尼崎の「学びの場」や学んでいる人、活動が連携して、尼崎をもっと楽しく学べるまちにするためのプロジェクトです。

今回、プロモーションサイトを開設し、実際にまちで活動している人などの取組を紹介することで、事業の趣旨や目的を分かりやすく伝えていきます。

## ◆コンテンツご紹介

 <p>授業検索</p>	市内で実施する講座などの学びの情報をさまざまな方法で検索できます。講座のジャンルによって「まち知る学部」「尼で子育て学部」など6つの学部、学びの段階に合わせて「知る」「深める」「行動する」学科に分類しています。他にも、場所や日時、フリーワードで検索することができます。
 <p>入学案内</p>	「所在地は?」「入学資格は?」など、まち全体をほんものの大学に見立ててご案内をしています。
 <p>学生生活</p>	学びをきっかけに活動を始めた人や、「私の学び」を「みんなの学び」として広げている活動など、スクールモットーのような取組を行っている人や場、活動のご紹介をしています。
 <p>オープン キャンパス</p>	みんなの尼崎大学オープンキャンパスは、まちなかの様々な学びの場（キャンパス）を巡って、その場でどんな活動をしているのか聴いたり、参加者同士のセッションを通して、課題解決や、新しい企画のアイデアを練ったりしています。これまでの開催報告や今後の予定などを掲載していきます。
 <p>ATTF</p>	「ATTF」は、Amagasaki to the Future（アマガサキ・トゥ・ザ・フューチャー）の略称で、みんなで尼崎市の課題を知り、尼崎の資源をもとに解決策を考えるなど、未来を創造するためのカードゲームです。ATTFの遊び方の動画や今までの実施報告などを掲載しています。